

## ベトナムFW事前研修を実施しました！

### ① NPO法人長崎ベトナム友好協会（平和班）

来月ベトナムのホーチミンにて「平和」に関するフィールドワークを計画している高校2年生国際科の生徒4名が、7月1日（土）にNPO法人長崎ベトナム友好協会を訪問し、理事長で国会議員の富岡勉氏よりお話をいただきました。ベトナムと長崎に関する交流の歴史を豊富な地図や資料を基に紹介していただき、その後は、人口構成から見る、日本とベトナムの経済事情や、ベトナムの歴史を裏付けとした、その国民性についても詳しくお話をいただきました。参加者から出たベトナムの方の価値観や考え方に関する質問についても、ご自身の体験も交えて現実味溢れるお話を聞くことができました。参加者は、「日本とは違う価値観や生活様式を持つ人々の生活に触れ、交流することへのモチベーションが高まり、現地での調査や交流がますます楽しみになってきた。」と、今回の訪問を契機に、フィールドワークへの期待が膨らんでいるようでした。



### ② 長崎大学熱帯医学ミュージアム（医療班）

8月にベトナムのハノイにて「医療」に関するフィールドワークを計画している高校2年生国際科の生徒4名が、6月30日（金）に長崎大学熱帯医学ミュージアムを訪れ、感染症と熱帯医学研究所ベトナム拠点についてそれぞれ学んできました。館内には標本などとともに、多数のパネルが設置されており、感染症についての基礎知識について高校生にもわかるように丁寧な説明がありました。ウイルスとは何かといった根本的なものから、ベトナムでも流行しているマラリアや住血吸虫症などといった具体的な感染症の説明まで、生徒たちは立ち止まりながらじっくりと見学していました。参加した生徒たちからは「感染症は決して遠くの国だけで起こっているわけではなく、日本国内でも流行する可能性があり、非常に危険だと感じた。ベトナムの現状を実際に見ることで、研究に活かしていきたい。」との感想が聞かれました。



### ③ 長崎大学環境科学部（水班）

来月ベトナムのハロン湾とハノイにて「水」に関するフィールドワークを計画している高校2年生国際科の生徒4名が、7月1日（金）に長崎大学環境科学部の濱崎准教授の元を訪れました。まずは生徒が各班の研究テーマやフィールドワークでの計画を説明した後、それぞれに対して濱崎先生からご助言をいただきました。「養殖による水質汚染を防ぐために、えさの適切な量を管理する」ことを提案した班には、「現地で実際に与えている量と適量との差を調べたり、漁師さんにインタビューしたりしてはどうか。えさには化学物質が入っており、それが汚染につながる可能性もある。」など、具体的なアドバイスをいただきました。

